

政策分析シート（令和4年度）

政策名	利便性の高い都市基盤の整備	政策No	12	部名	防災都市づくり部
関連部名		部長名	松土	内線	2800
行政評価事業体系	分野	VI	安全安心都市		

目的 荒川区は、都心に近接した立地と交通の利便性に恵まれており、さらに、住みたい、住み続けたい街の実現を目指して、道路等の都市施設の整備、駅前再開発の推進、防災街づくりの推進、公共交通網の整備等を進め、防災性が高く、良好な住環境の市街地となるよう取組を進める。

指標	幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文
			元年度	2年度	3年度	
①	生活環境の充実		3. 23	—	3. 26	お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？
②	防災性		2. 33	—	2. 32	お住まいの地域は災害に強いと感じますか？
③	交通利便性		3. 95	—	3. 92	お住まいの地域は交通の便が良いと感じますか？
④	まちなみの良さ		3. 02	—	3. 02	お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？
⑤						
⑥						
⑦						
政策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
	元年度	2年度	3年度	4年度見込み	目標値(8年度)	
①	住環境条例の条例適合率（％）	100	100	87	100	適合件数／届出件数 ※計画時
②	都市計画道路の整備率（％）	58. 1	58. 1	58. 1	58. 1	完成5, 160m／計画8, 886m（平成29年3月末延長）
③	コミュニティバスの乗車人員（人／日）	2, 794	1, 781	1, 643	1, 740	3, 400 一日あたり
④	市街地再開発事業の進捗率（全地区）（％）	76	76	82	83	100 各地区（日暮里、西日暮里、三河島、南千住、町屋）の平均
⑤						
⑥						
⑦						

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	2年度	3年度	差額	勘定科目	2年度	3年度	差額
行政費用	給与関係費	308, 435	280, 269	▲ 28, 166	地方税等	0	0	0
	物件費	286, 257	303, 780	17, 523	国庫支出金	0	137, 476	137, 476
	維持補修費	264	25, 959	25, 695	都支出金	61, 552	62, 656	1, 104
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	17, 955	292, 788	274, 833	使用料及び手数料	22, 593	22, 990	397
	減価償却費	87, 630	85, 609	▲ 2, 021	其他行政収入	5, 152	5, 648	496
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	89, 297	228, 770	139, 473
	賞与・退職給与引当金繰入額	77, 022	65, 471	▲ 11, 551	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 727, 476	▲ 847, 909	▲ 120, 433
	其他行政費用	39, 210	22, 803	▲ 16, 407	金融収支差額(d)	▲ 209	▲ 91	118
	行政費用合計(b)	816, 773	1, 076, 679	259, 906	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 727, 685	▲ 848, 000	▲ 120, 315
特別費用	特別費用(g)	0	19, 714	19, 714	特別収入(f)	0	72	72
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	▲ 19, 642	▲ 19, 642	当期収支差額(e)+(h)	▲ 727, 685	▲ 867, 642	▲ 139, 957
貸借対照表	勘定科目	2年度	3年度	差額	勘定科目	2年度	3年度	差額
流動資産	収入未済	0	177	177	流動負債	23, 399	14, 986	▲ 8, 413
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	7, 088	0	▲ 7, 088
固定資産	有形固定資産	6, 609, 456	6, 767, 555	158, 099	賞与引当金	16, 311	14, 986	▲ 1, 325
	土地	5, 277, 830	5, 521, 538	243, 708	その他の流動負債	0	0	0
	建物	507, 247	507, 247	0	固定負債	199, 943	200, 616	673
	建物減価償却累計額	▲ 337, 910	▲ 351, 587	▲ 13, 677	特別区債	0	0	0
	工作物等	2, 083, 046	2, 083, 046	0	退職給与引当金	199, 943	200, 616	673
	工作物等減価償却累計額	▲ 920, 757	▲ 992, 689	▲ 71, 932	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	223, 342	215, 602	▲ 7, 740
	建設仮勘定	71, 555	127, 394	55, 839	正味財産	6, 477, 383	6, 679, 524	202, 141
	その他の固定資産	19, 714	0	▲ 19, 714	正味財産の部合計	6, 477, 383	6, 679, 524	202, 141
	資産の部合計	6, 700, 725	6, 895, 126	194, 401	負債及び正味財産の部合計	6, 700, 725	6, 895, 126	194, 401

財務諸表に関する特微的事項等

○再開発事業やコミュニティバス運営、放置自転車対策等の事業を行っており、自転車駐車場管理の指定管理料を含む物件費が行政費用の約4割を占めている。補助費の増加の主な要因は、三河島駅北地区準備組合に対する補助金であり、その1/2が国庫支出金として収入されている。

○貸借対照表における有形固定資産は、放置自転車撤去や自転車置場・駐車場管理運営に関するものである。

政策の現状・課題・今後の方向性

現状	○都市計画道路については、平成19年度に補助306号線、平成22年度に補助107号線の整備が完了以降、整備率58.1%に変動はない状況である。 ○三河島駅前北地区については、周辺に密集市街地があり、また旧真土小学校を含めて低・未利用地が比較的多いなど、地域の防災性や駅前の賑わいが不足している。また、西日暮里駅前は、区内有数の交通結節点でありながら、駅前の快適性向上や賑わい創出に寄与する整備が行われていない。 ○コミュニティバスは、新型コロナウイルス感染症等の影響により、利用者が減少しており、町屋さくらについては、採算性の問題等から令和3年度をもって運行を終了した。
課題	○都市計画道路の整備に当たっては、土地所有者等関係権利者の理解を得るとともに、既存道路との接続による交通への影響等を考慮しながら進める必要がある。 ○三河島駅前北地区については、駅前にふさわしい魅力や賑わいの場の創出や、大部分が木造住宅密集地域であることから、地域の防災性向上を図る必要がある。また、西日暮里駅前地区については、地区全体としての賑わいを創出するため、利用しやすい文化交流施設や商業施設、防災拠点となるオープンスペース、駅前広場等の都市基盤の整備を行う必要がある。 ○コミュニティバスの今後の乗車人員を注視するとともに、町屋さくら廃止後の交通不便地域への対応が必要である。
今後の方向性	○都市計画道路の整備に当たっては、関係権利者への丁寧な対応を行うとともに、交通管理者や鉄道事業者等と調整を図りながら、より安全で機能性の高い道路の整備を図り、都市の基盤づくりを着実に進めていく。 ○都市計画決定を行った三河島駅前北地区及び西日暮里駅前地区について、さらに市街地再開発事業による拠点整備に取り組み、多様な都市機能が集積した、駅前にふさわしい魅力と賑わいのある市街地の形成を目指していく。 ○交通対策については、福祉的な視点での新たな交通支援を検討していく。

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	4年度 設 定	5年度 設 定	
快適な市街地環境への誘導	推進	推進	区の都市計画マスタープランに基づき、秩序ある街づくりを進め、快適な市街地環境の整備を誘導していく。
都市計画道路の整備	重点的に推進	重点的に推進	都市計画道路の整備は、街の防災性向上や安全な交通空間確保等の観点から、優先順位を定めて計画的に推進していく。
交通環境の整備	推進	推進	交通機関の充実や交通不便地域における利便性の向上、及び快適な道路環境の整備を推進していく。
市街地再開発事業等の推進	重点的に推進	重点的に推進	各地区で策定したまちづくり構想に掲げる将来像を実現するため、再開発を重点的に推進する。